

平成19年度護持会決算書

項目	19年度予算	19年度決算	増減	摘要
収入	円	円	円	
護持会費	2,400,000	2,456,000	56,000	過年度分を含む
繰越金	60,466	60,466	0	前年度より
雑収入	10,000	24,204	14,204	利子・墓工事水道料
合計	2,470,466	2,540,670	70,204	

支出				
寺院維持費				
1. 本山費	850,000	708,500	△ 141,500	本山負担金
2. 修営繕費	100,000	80,000	△ 20,000	風倒木処理
3. 維持費	350,000	337,761	△ 12,239	電話電気基本料・水道料
4. 保険費	370,000	367,259	△ 2,741	火災・厚生一唐丹漁協一
寺院経営費				
1. 会議費	60,000	54,420	△ 5,580	総会費・茶菓子代
2. 総務費	60,000	89,170	29,170	固定資産税、香奠、寺報の発送費
3. 管理費	300,000	300,000	0	庭園整備
4. 雑費	30,000	25,000	△ 5,000	見舞金
5. 寺報費	110,000	117,600	7,600	寺報38号～39号印刷
6. 積立金	200,000	200,000	0	唐丹漁協
7. 予備費	40,466	33,056	△ 7,410	五升型保温器
合計	2,470,466	2,312,766	157,700	
残金	0	227,904		次年度へ繰り越し

此錯彼錯

▼春三月は別れの季節だ。「別」の字のなりたちは、刀で骨と肉を分けることを表しているという▼学校の卒業式は別れの一大イベントではないだろうか。今や卒業式の定番ソングというものが、「旅立ちの日に」「贈る言葉」「大地讃頌」などがヒットソングになっているらしい。「仰げば尊し」や「蛍の光」は遠い昔の歌になってしまったと思っていたら、今でもこの二つの歌はベスト15に入っていて、歌い継がれていると聞いてうれしくなった▼仰げば尊しの歌詞で「今こそ別れめいざさらば」のところは何故か力が入った。涙を堪えるためだったのか▼送る言葉に名言も多々あるだろう。先生からも友人も「頑張れよ」の一言は、ありきたりの言葉だったが、大なる志を奮い立たせるものがあつた。斎藤優二郎の俳句に「川越えて卒業の歌まぎれなし」
(大天)